

○●平成29年度 千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦●○

平成29年 7月30日 14時 kickoff 東総運動公園陸上競技場
順天堂大学女子蹴球部 0(0-0, 0-1)1 帝京平成大学女子サッカー部
主審:彦坂由樹子 副審1:栗山知佳子 副審2:大橋明子 第4審:林麗華 (敬称略)

平成29年度 千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦で審判を務められたみなさん。1点を争う素晴らしいゲームの演出に力を発揮していただきありがとうございました。



左から
大橋さん、林さん、
彦坂さん、栗山さん

皆さんに、審判活動のモチベーションについて、聞いてみました。

彦坂:前に指摘されたことに対して修正できるようチャレンジしてみようかな、と思うことと、審判関係者に限らずサッカーに関係するいろんな人との出会い、再会が楽しみなことです。

栗山:サッカーが好きなので、プレーがこんなに間近で見られるポジションは他にないと、いろんな世代の方と交流することが出来ることです。高校時代にサッカー部のマネージャーをしていたのですが、顧問の先生も審判をされていて、昨年、審判関係のイベントで偶然再会することができました。

大橋:審判を終えた後のコンビニデザートも良いんですが、家に帰ってから子供は選手の立場、私は審判の立場でのサッカー談義のコミュニケーションが広がるのが楽しいです♪

林:親がサッカーが好きなので、父親とのコミュニケーションのきっかけになっています。サッカーがないと、話すことがホントになくなっちゃうんで…(笑)そして自分が興味のあることに対して、親がお金を出してくれることってあまりないんですけど、審判活動に必要な道具に関してはとても積極的に支援していただいて、アルバイトをする時間があまりない中で大変お世話になっちゃっています。





おつかれ
さまでした!

○●女子部 通信！ 実技更新講習会●○

8月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり、実技更新講習会を、香取市招待ジュニアユースサッカー交流大会試合、香取市立佐原第五中学校会場で実施しました。

土曜日は第1試合の前半から雨が降り始め、ハーフタイムに入ると雷の音が…。本部から建物の下や車の中に入るように指示があり、全員退避。1時間半近く様子を見守ることになりました。しばらくすると雷も雨も止み、本部と運営の判断で再開することができました。試合時間の短縮などはありませんでしたが、受講生も予定通り割当を行うことができました。雷のときの対応についての通達に目を通す機会を得ることができ、また、実技では競技規則が変更となった事象が起きるなど、再度変更点についてインストラクターと一緒に適用の方法について検討し、確認することができました。

日曜日は比較的過ごしやすい天候で予定されていたリーグ戦が実施され、受講生は体力的に余裕をもって普段の活動や自分の課題と向き合うことができたのではないかと思います。最終試合は、女子1級審判員の千葉さんに主審に任じ、副審2名と一緒に試合を体験。受講生やスタッフは観戦研修し、インストラクターによる解説を聴きながら自然と流れるような、ボールとプレーの近くにいながら選手の邪魔にならない動きに見入りました。

両日も実技の合間に、規則の変更点を確認できる競技規則テストを実施しました。大きな変更のあとの改正ではありませんが、いま一度、整理をする良い機会になったと思います。

女性だけの更新講習会です。インストラクターからの丁寧な指導を受けられます。毎年、香取市サッカー協会のご協力を得て、8月のお盆明けの週末に行なっています。女性審判員のみなさん、来年の予定に入れておいてください！

受講生の感想をご紹介します。

❖ 去年は雨によって、実技研修がなく、淋しかったので、今回はよかったです。試合時間をきちんとこなせる体力をつけていくことが今後の課題です。毎回、お手配、準備ありがとうございます。来年も「元気に」参加できたら、と思います。

❖ 香取研修会に今年も参加させて頂きまして、ありがとうございました。雷雨のため、1時間30分の待機時間がありましたが、割当の試合をさせて頂きました。試合の内容に合わせてのレフェリングなど課題はいろいろとあります。今後とも勉強しながら、進んでいければと思います。ありがとうございました。

❖ 雷、試合中断、本部の判断待ち、試合の再開、チームへの連絡など、レフェリング以外でのいい経験ができました。自分の試合では、『ペナルティーエリア内での決定的な得点の機会の阻止』『ボールへのプレー』だけど、警告が出せず、インストラクターに言われるまで気づけなかったのが、意識を高めたいと思います。怪我なく終わったのでよかったです。